

1 学校教育目標

- 思いやりのある子 よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子
- 考える子 様々な問題を解決するために、多様な考えをもてる子
- たくましい子 困難に直面してもあきらめず、より高い目標に向かって努力し続ける心と体をもつ子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力を身に付けられる学校 ○豊かな心を醸成できる学校 ○確かな学び、豊かな心を支える強く健やかな心と身体が育つ学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的、基本的な学力を身に付けた児童 ○進んで学習や運動に取り組む積極性をもった児童 ○思いやりの気持ちを持ち、人権を尊重する児童 ○学習、生活両面で発達段階に応じた「規範意識」をもった児童 ○進んで運動に親しみ、心身を鍛える健康な児童
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○教育に対して熱意あふれる教師 ○児童に対して愛あふれる教師 ○向上心をもって職務に取り組む教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

1 学校の現状

児童数273名 11クラス 89周年の伝統校である。

【児童】思いやりのある、素直で明るい児童が多く、学習や諸活動においては真面目に取り組む。落ち着いた態度で学校生活を送っている。運動発表会や展覧会等の学校行事で目標に向かって努力することで達成感を味わい、積極的に課題に取り組み、自己肯定感が高まりつつある。区学力調査の通過率は、目標の80%以上を上回り87.5%という好結果であった。

【教職員】学校長の経営方針を受け、教職員は意欲的で前向きに取り組んでおり、組織内の役割を確実に果たそうと努力している。また、小中連携・年次研修・校内OJT・教科指導専門員の指導などにより研修を積んでいる。

【保護者、地域】親子三代卒業生の家庭も多く、保護者・地域とも学校に協力的である。保護者・地域・開かれた学校づくり協議会の方々との連携事業を継続するとともに質の向上を図っている。学力向上や様々な取り組みに、学校の成果を評価し期待感も高まっている。

2 前年度の成果と課題

重点的な取組事項－1 学力向上(基礎的・基本的事項の定着 思考力・判断力・表現力の育成)

○数値目標 令和3年4月実施 区学力調査結果 通過率80%以上

○実施結果 令和3年4月結果 通過率87.5%

正答率は、国語77.1%、算数78.6%であった。通過率は、国語87.7% 算数87.2%であった。

通過率は、目標の80%を大きく上回ることができた。これは、学力向上の取り組み【朝学習の時間での短作文、音読、視写、計算、読書等の実施。金曜日6校時の梅一タイムでの文章読解を中心にした取り組み。算数の授業における1年生からの少人数指導や習熟度別指導。全学年で算数の単元テストにおいて目標値に到達しなかった児童を対象に放課後補習の実施。夏季休業中に6日間の補習（コロナ禍で予定した10日間はできなかった）】の成果であると考えられる。ただ、高学年で伸び悩みの傾向がある。低・中学年の高い通過率を高学年になっても維持し続けていくことが課題である。

重点的な取組事項－2 教師の授業力向上(小・中連携、校内OJT、巡回指導等)

○数値目標：校内OJT、巡回指導等による授業力向上 児童アンケート「授業が分かりやすい」90% 教員評価「授業力向上」90%

○実施結果：児童アンケート「授業が分かりやすい」94.7% 教員評価「授業力向上」100%

小中連携（梅一・島根・十中）合同研究会を実施した。他校の教員と研究授業をとおして意見交換し合うことで授業力向上につながった。

校内OJTは、年間23回実施した。教員が相互に学び合い、高め合う雰囲気が醸成された。

教科指導専門員による巡回指導は、若手教員や教職経験年数の少ない教員を中心に行った。着実に足立スタンダードに基づいた授業は定着した。今後とも指導を授業改善に生かしていく。

重点的な取組事項－3 心身の健康推進(保護者・地域等との連携)

○数値目標：生活習慣の改善 体力向上 いじめの早期発見と適切な対応 不登校の対応 見逃しゼロへの取り組み 学校事故未然防止の達成率85～100%

○実施結果：概ね良好

生活面の児童アンケートでは、「挨拶」86.5%「言葉遣い」77.8%「早寝、早起き、朝ごはん」79.7%であった。また、体育では運動領域に制限のある中、91.3%の児童が「授業に楽しく取り組めた」と答え、82.3%の児童が体力向上を実感できた。特に投力では、講師を招聘しての「投げ方教室」を行い、児童はもちろん教員にとっても有意義な授業となった。投力、跳躍力、柔軟性などを高めるため体育の準備運動の時間などで継続して取り組んでいく。

「いじめの早期発見と適切な対応、不登校の対応や見逃しゼロへの取り組み」は教員評価で「よくできた・できた」の達成率100%となった。また、学校事故の未然防止に向けて児童への安全指導、教員による安全点検を確実にやっていく。

保護者・地域との連携では、計画していた学校行事や学校公開がほとんどできなかった。規模の縮小や内容を制限した運動発表会や展覧会、学年PTA行事は行うことができ、子供たちは意欲的に取り組んだ。

開かれた学校づくり協議会共催の芝生グリーンプロジェクト、親子ふれあい華道教室、親子盆踊り体験、漢字検定チャレンジ教室は実施することができた。これらは、児童にとって豊かな体験的活動となった。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R2	R3	R4	R5	R6
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	教師の授業力向上(小・中連携、校内OJT、巡回指導等)	○	○	○	○	
3	心身の健康推進(保護者・地域等との連携)	○	○	○	○	

5 令和4年度の重点目標

重点的な取組事項－1	学力向上アクションプラン
------------	--------------

A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
学力向上(基礎的・基本的事項の定着 思考力・判断力・表現力の育成)		学力調査 82% // 年度末 84%				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクション プラン	対象・ 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 新規	A I ドリルを活用した放課後補習教室	個別指導を要する児童算数	放課後、週2回平均	・全教員、地域ボランティア ・単元の学習内容の定着を図る。A I ドリルを活用し苦手な問題を中心に学習する。	時間内に行う問題の正答率	全問正解。 (間違いは直せば正答とする)	自己評価の際に記入		
2 新規	A I ドリルを活用した夏季学習教室	個別指導を要する児童算数	夏季休業中の10日間	・全教員 ・A I ドリルを活用し苦手な問題を中心に学習する。	時間内に行う問題の正答率	全問正解。 (間違いは直せば正答とする)			
3 継続	梅一タイム	全児童国語	毎週金曜日6校時	・担任 ・文章力・読解力向上	文章問題テスト	文章問題テスト正答率80%が8割			
4 継続	話し合い活動の充実	全児童国語科を中心とし、教育活動全般	通年	・担任 ・話し合い活動により自分の考えを深める。	教員は授業中の観察や児童のノートなどから見とる。	教員の自己評価で考えが深まった児童60%			
5 継続	思考力・判断力・表現力を伸ばす授業	全児童国語算数社会理科を中心とし、教育活動全般	通年	・担任 ・知識・技能の活用を図る学習活動を月1回は取り入れる。 ・自分の考えを書く活動を週2回は行う。 ・主に国語で文章の要約を月1回は行う。	児童の作品やノートなどから見とる。	教員の自己評価で各活動の達成率80%			

6 継続	形成的評価のためのテスト	全児童 算数	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・担任 ・算数の授業の終わりにミニテストを行い、児童の定着度を把握する。 	授業時間内にミニテストを行う。	教員の自己評価で達成率80%			
7 継続	I C T 機器の活用研修	全児童 各教科	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・担任、専科 ・I C T 機器の活用方法についての研修会を行う。 	教員自己評価 I C T 機器を授業で効果的に活用する。	教員の自己評価で達成率80%			
8 継続	家庭学習	全児童 国語 算数等	毎日	<ul style="list-style-type: none"> ・担任 ・学習内容の定着と学習習慣をつける。宿題未提出者はその日のうちに学校で宿題を終了させる。 	児童アンケート	児童アンケート「家庭学習を忘れずにできた」85%			

重点的な取組事項－2		教師の授業力向上（小・中連携、校内O J T、巡回指導等）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
教師の授業力向上 （十中・島根小との連携の推進） （校内O J T、巡回指導等）		小中連携・OJTによる授業力向上90% 児童アンケート 「授業が分かりやすい」90%	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
教師の授業力向上	足立スタンダード100% 児童アンケート 「授業が分かりやすい」90%	<ul style="list-style-type: none"> ・足立スタンダードの徹底 ・学習規律の徹底 ・授業観察、巡回指導等 ・校内O J T 	自己評価の際に記入		
小中連携の推進	年間7回3校合同研究会 教員評価「小中連携による授業力向上」90%	<ul style="list-style-type: none"> ・年間7回の合同研究会 ・十中教員による勉共会3回（児童向け） 			
区小研等学校外の研究会参加	区小研参加100% 区内外の研究会参加2回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・区小研参加 ・区内外の研究会参加 ・各種研修会参加 			

重点的な取組事項－3		心身の健康推進（保護者・地域等との連携）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者・地域と連携し、健康で明るく生活できる児童の育成 健康教育・安全教育の推進を図り、安心・安全な学校づくり		生活習慣の確立・体力向上 いじめの早期発見と適切な対応、不登校の対応、見逃しゼロへの取り組み 学校事故未然防止	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
道徳の時間の確保と質的改善 道徳教育の充実	教員評価 「道徳の授業で自分の考えをもつことができる児童」85%	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業の時数確保と改善 ・道徳授業地区公開講座 ・人権標語づくり ・ありがとうカード 	自己評価の際に記入		
学校図書館基本計画の実施	教員評価 「学年目標を達成できた」90%	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の目標を設定し、達成を目指し、取り組む 			
体力向上	児童アンケート 「体育の授業に楽しく取り組めた」90% 「体力が向上した」85%	<ul style="list-style-type: none"> ・体育授業の改善 ・投力・跳躍力・柔軟性を高める取り組み ・学習カードの活用 ・beyond2020 マイベストプログラムの活用 ・業間運動の実施 			
生活リズムの定着	児童アンケート 「早寝・早起き・朝ご飯」 「あいさつ」「ていねいな言葉づかい」80%	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携した生活リズムの定着 ・生活リズムカードの活用年間3回 ・食育の指導 ・あいさつの指導 			
安心・安全な学校生活の推進	教員評価 「いじめの早期発見と適切な対応、不登校の対応、見逃しゼロへの取り組み」100%	<ul style="list-style-type: none"> ・常に児童の様子に注意する。 ・問題には即対応する ・アンケートの丁寧な聞き取り ・SOSの出し方教室の開催 ・安全指導の完全実施 ・安全点検の完全実施 			

保護者・地域との連携	教員評価 「保護者・地域との連携」90%	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加（祭礼・清掃活動等） ・開かれた学校づくり協議会との連携事業 ・地域講師の活用 			
------------	-------------------------	--	--	--	--

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。